

# 化学物質の環境リスク初期評価（第22次取りまとめ）の 結果について

令和6年2月8日

大臣官房環境保健部

環境安全課 環境リスク評価室

# 化学物質の環境リスク初期評価（第22次取りまとめ）結果

## 1. 実施内容等

- 化学物質による環境汚染を通じて、人の健康や生態系に好ましくない影響が発生することを未然に防止するため、科学的な知見に基づいて、多数の化学物質の中から相対的に環境リスクが大きいと想定される物質を抽出（スクリーニング）する環境リスク初期評価を平成9年度から実施。第22次の取りまとめ結果を化学物質評価専門委員会における審議を経て昨年12月に公表。
- 具体的には、①人の健康に対するリスク（健康リスク）と ②生態系に対するリスク（生態リスク）の観点から、文献情報等を用い、有害性・曝露に関する評価を実施。
- 「更なる関連情報の収集が必要」とされた物質については、個々の評価の内容を踏まえて関係部局との連携等を確保し、環境中の存在状況や有害性に係る知見の充実を図る。

## 2. 第22次取りまとめ結果

評価の観点	評価対象注	評価結果	
		詳細な評価を行う候補	更なる関連情報の収集が必要
健康リスク	9物質	0物質	1物質
生態リスク	13物質	0物質	3物質

注：今次までの累計で、環境リスク初期評価（健康リスクと生態リスクの双方）322物質、生態リスク初期評価のみ102物質の評価を実施。

# 化学物質の環境リスク初期評価（第22次取りまとめ）結果

評価の観点	評価対象	評価結果		
		詳細な評価を行う候補	更なる関連情報の収集が必要	現時点では更なる作業の必要性は低い
健康リスク	9物質	【0物質】	【1物質】 吸入曝露（一般環境大気） ・ <i>tert</i> -ブチル=ヒドロペルオキシド*	【8物質】 ・イソブチルアルデヒド ・1-クロロ-2,4-ジニトロベンゼン ・2-(ジエチルアミノ)エタノール ・1,3-ジオキソラン ・シス-1,2-ジクロロエチレン ・ <i>N</i> -ビニル-2-ピロリドン ・ピロカテコール ・2-プロピン-1-オール
生態リスク	13物質	【0物質】	【3物質】 ・イソブチルアルデヒド* ・シス-1,2-ジクロロエチレン ・トリブチルアミン*	【10物質】 ・1-クロロ-2,4-ジニトロベンゼン ・2-(ジエチルアミノ)エタノール ・1,3-ジオキソラン ・ <i>N</i> -ビニル-2-ピロリドン ・ピロカテコール ・ <i>tert</i> -ブチル=ヒドロペルオキシド ・2-プロピン-1-オール ・アセトアミノフェン ・カフェイン ・サリチル酸ナトリウム

\* 既存の関連情報を総合的に勘案して判断し更なる関連情報の収集に努める必要があると判定した物質。すなわち、MOEや過剰発生率、PEC/PNEC比では「現時点では作業は必要ないと考えられる」又は「現時点ではリスクの判定ができない」となったが、既存データの解析及び専門的な見地から総合的に判断して、更なる関連情報の収集が必要と判定した物質。